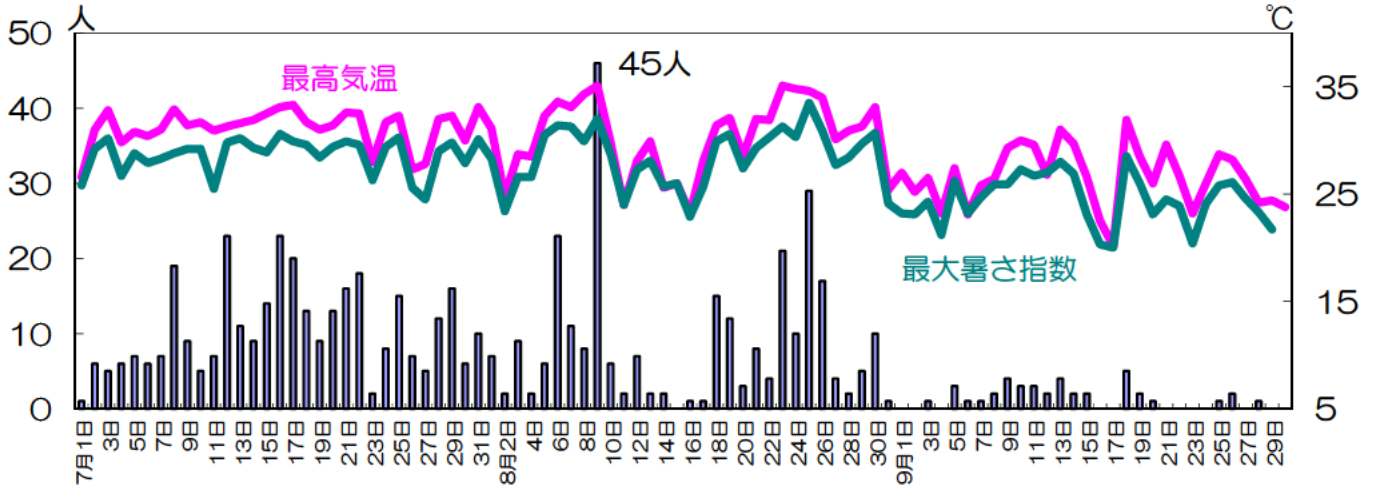


# 熱中症情報

## <搬送数>

平成29年5月1日～9月30日までの搬送数（消防局データを使用）は、計734人（5月48人、6月42人、7月328人、8月276人、9月40人）でした。9月に入り涼しくなり、搬送数は減少しました。

季節の変わり目で、気温の変化が激しく、朝晩は涼しくても、日中真夏日になる場合もありますので、こまめに水分を補給し、適度に塩分を取り、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける事が大切です。また、室温は28℃を超えないようにエアコンで調節して、暑さから身を守りましょう。



**暑さ指数とは?** 人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標  
詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト\(暑さ指数\(WBGT\)とは?\)](#)」をご覧ください。

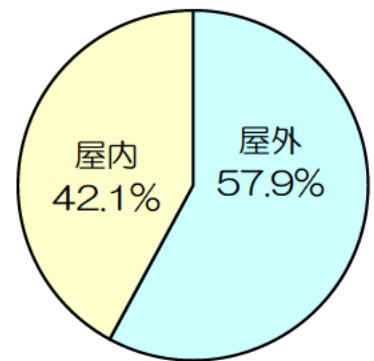
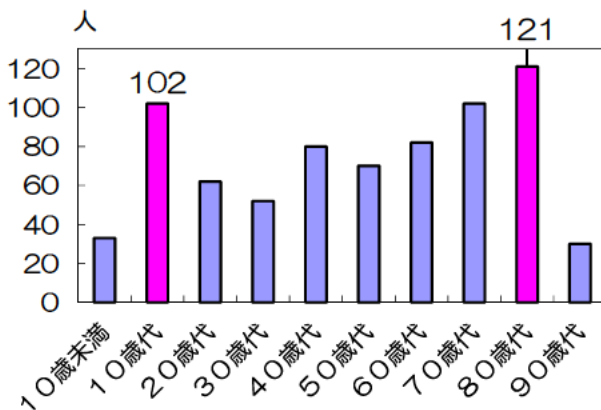
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

## <年齢別>

年齢別では、80歳代が16.5%と、一番多く、次に10歳代が13.9%でした。

## <発生場所>

屋外57.9%、屋内42.1%で、屋外での発生が多くなっています。



## <重症度>

軽症59.9%、中等症35.3%、重症3.8%、重篤1.0%でした。

重症以上は、90歳代7人、80歳代10人、70歳代3人、60歳代4人、59歳以下11人でした。高齢者(65歳以上)になると、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

